

J.S.V.R.

ニュースレター

No.29

2022.11

発行人 日本バレーボール学会
会長 黒川 貞生
発行日 2022年11月1日
事務局
〒422-8581 静岡市駿河区弥生町6-1
常葉大学静岡草薙キャンパス 高根研究室
Tel&Fax 054-297-6264
E-mail:jsvr.office@gmail.com
<http://www.jsvr.org/>

日本バレーボール学会

The Japanese Society of Volleyball Research



巻頭言



日本バレーボール学会理事長
松井 泰二（早稲田大学）

学会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より学会活動に対しご高配を賜り厚く御礼申し上げます。長期化している新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げ、罹患された方々皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者の方々の献身的なお勤めは身体的・精神的にも予想をはるかに超えた負担であることは言うまでもなく、深く感謝申し上げます。

さて、ここに J.S.V.R. ニュースレター第 29 号を発行する運びとなり、皆様へお届けできることを嬉しく思っております。

昨年、バレーボール界では、1つの節目である 2020 東京オリンピック・パラリンピック大会が開催され、日本男子チームは 29 年ぶりに準々決勝へ進み第 7 位と健闘いたしました。中垣内監督とフィリップ・ブランコーチは日本人の身体的特徴やディフェンスの良さを勘案し、世界の強豪チームと対等に戦える技能・戦術を獲得することができました。そのポスト東京オリンピックである 2022 年は、2 年後の 2024 年パリオリンピックに向けてのスタートが切られた年です。世の中は引き続きコロナ禍での環境下であり、さらにはロシアによる一方的なウクライナへの侵略行為において、深い悲しみと怒りそして今後の世界情勢に不安を抱えることとなり、多くの人々の命が失われていることに心が痛みます。バレーボール界においてもその影響が及び、2022 年世界選手権男子大会の開催地をロシアからポーランドとスロベニアへと変更しました。国内に目を向けるとシニア男子チームの監督は中垣内祐一氏からフィリップ・ブラン氏へ、シニア女子チームは中田久美氏から眞鍋正義氏へ変わり、日本バレーボール協会の会長も嶋岡健司氏から川合俊一氏へと変わりました。川合会長が就任して間もなく、株式会社カプコン様と 3 年間のトップパートナー契約を締結し、川合会長が動き始めました。

さて、日本バレーボール学会では、2022 年 3 月 5 日・6 日とオンラインにて第 27 回日本バレーボール学会研究大会を開催いたしました。テーマを「他種目のコーチングと比較し、バレーボールの発展を考える」とし、シンポジウムでは矢島久徳氏（JVA ハイパフォーマンス事業本部長）、中村貴司氏（JVA 女子強化委員長）、恩塚亨氏（シニア女子バスケット日本代表監督、東京医療保健大学）、市村志郎氏（ハ

ンドボール学会理事長、東京理科大学) を迎え、東京オリンピックの総括とともに今後の戦略についてもご教示いただきました。他競技の情報を共有いただいたことにより、多くの気づきが生まれたことと思います。

2022年8月29日には、2022年日本バレーボール学会ミーティングが日本体育大学世田谷キャンパスにて「より良いバレーボールコーチング実践を考える」とのテーマでおこなわれ、益子直美氏(元バレーボール日本代表選手・日本バレーボール協会理事)、佐良土茂樹氏(日本体育大学)、伊藤雅充氏(日本体育大学)をお招きいたしました。「監督が怒ってはいけない大会」を企画・運営する益子氏からの事例を用いて具体的なエピソードを交えて語っていただき、佐良土氏からは意味を哲学的に考えてみることから、「怒り」について哲学的観点からご講義いただきました。また、伊藤氏からはコーチのついでに講義とグループディスカッションをおこない、有意義な時間を頂戴いたし、盛会のうちに終了いたしました。

今後は、研究助成申請(本件については、学会HPに掲載しておりますのでご確認ください。)や機関誌「バレーボール研究」への投稿募集など是非ご一読頂き、学会活動への積極的なご参加、学会員相互の情報共有にお役立て頂き、加えて学会へのご意見などお寄せ頂ければ幸いに存じます。

コロナ禍において日本バレーボール学会創立25周年記念事業が実現できなかったのですが、現在、本学会創立27年事業として、「東京オリンピックテクニカルレポート(仮称)」を年度内に出版する予定です。これは、一般財団法人日本バレーボール協会が作成したテクニカルレポートを一般の方にもわかりやすい形に再編し、多くのバレーボールファンにもバレーボールに関わる数字を見ていただくという主旨から鋭意取りかかっており、皆様のご期待添えますように努めてまいります。

また、本学会では新しい会員の入会をお待ちいたしております。会員の皆様におかれましては周囲の方々に私たちの学会活動をご紹介頂き、より多くの方々へご入会を勧めて頂きたいと存じます。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。